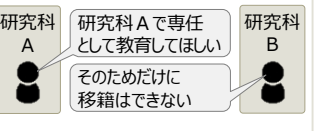


# 北海道大学の教育組織大改造 ~ 学院・研究院化の完成にむけて ~

## ① 研究科の課題

研究科は研究組織と教育組織が一体であり、新たな教育のためには教員組織再編が必要だった。



## ② 学院・研究院とは

教育と研究の目的は必ずしも一致しないため、学教法100条に基づきH17から段階的に、各研究科を学院&研究院に分離

**学院** 大学院生が所属。教育上の目的に応じて編制

**研究院** 教員が所属。研究目的に応じつつ、教育上の必要性を考慮

学教法100条 (略) 教育研究上の目的を達成するため有益かつ適切である場合には (略) **研究科以外の教育研究上の基本となる組織を置くことができる。**

## ③ 学院・研究院の効果

**適切な資源配分** 学院での教育は複数の研究院/附属研等の教員が担当できるため、研究領域に縛られることなく教育資源を再配分可能

**機動性** 社会が要請する新たな教育の実施にあたり、教員組織再編を伴わずに機動的に教育組織を設置可能



## 北海道大学近未来戦略150 (抄)

専門的知識に裏づけられた総合的判断力と高い識見、並びに異文化理解能力と国際的コミュニケーション能力を有し、国際社会の発展に寄与する指導的・中核的な人材を育成する。

(1)⑥ **異分野を有機的に融合したグローバルな大学院教育の展開**

(2)⑤ **教員組織と大学院教育組織の分離を推進**

### 分野横断型3国際大学院の新設

総長のトップダウンのもと、**医理工学院**、**国際感染症学院**、**国際食資源学院**の3つの国際大学院を設置する。分野横断型や国際連携重視といったこれらの学院の特徴を活かし、世界の課題解決に大きく貢献する。

### 学院・研究院の拡充による教育複線化

分野横断型である3新学院設置には複数部局の協力が不可欠である。H17から進めてきた学院・研究院制を最大限活用するため、**医学**、**獣医学**、**歯学**、**経済学**の4研究科を一挙に学院・研究院化し、教育の更なる複線化を図る。

